



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成23年2月7日(火)

第2574回 例会

(本年度第27回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

2011-2012年度 国際ロータリー会長…カルヤン・バネルジー

クラブホームページアドレス◎<http://www.tsuruokarc.org/>

メールアドレス◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(2/14)のメインプログラム

会員スピーチ
富田 喜美子 君

次週(2/21)のメインプログラム

ゲストスピーチ
2012年度鶴岡JC理事長 渡部 芳幸 氏

会長挨拶

青柳 孝治

パワーハラスメントについて

昔から、職場でいじめがあった訳ですが、近年パワーハラの訴えが多く、判定に苦慮してきました。

わたしも経験がありますが、皆さんはどうでしょうか？ この問題は小林さんの所が専門だと思います。この間、テレビでやっと定義というか、基準が定まったと報道されておりました。

※「パワーハラとは、業務の適正な範囲を越えて、精神的、身体的な苦痛を与えること」

例えば

- ・上司や先輩や同僚が侮辱する暴言を吐く。
- ・無視する。隔離する。暴力を振るう。
- ・仕事を強制する。出来ない事を解っていてさせる。
- ・仕事を与えない。
- ・プライベートの過度の立ち入り。
- ・飲み会で芸を強要する。

等、様々な例を発表しておりました。

私たちも企業、職場の代表として・職員・従業員から気持ち良く働いてもらう事が、繁栄に繋がると思います。充分気をつけて行きたいと思います。

幹事報告

木村 節

○Rの友事務所

「2012-2013年度

ロータリー手帳お買上げのお願い」

- ・1部…630円(5月下旬出来上がり予定)
- ・締切…2/25

寛明堂の歴史と写真

加藤 賢 君



寛明堂の加藤賢です。今回は、自分の生業である寛明堂の歴史と写真について少し触れられたらと思います。

1839年、フランスのダゲールにより世界で初めての写真が撮影されました。その後、日本には長崎と横浜に少しずつ伝来され、撮影技術が一般的になったのは、1850年頃と言われています。

1860年、桜田門外の変のところが写真撮影技術の伝来が頂点を迎えます。1862年江戸末期、日本人で初めて下岡蓮丈が横浜で、また長崎で上野彦馬が写真館を立ち上げました。また、ロシア系で函館にも1867年ころ写真技術が伝わっていることが確認できています。

明治2年、酒井家が東京謹慎をおおせつかり上京するのですが、その家来としてお供したのが、寛明堂の初代の加藤正克でした。2年間、東京から横浜に通い写真術を勉強し、明治4年(1871年)には写真術免許皆伝の書物と旗と薬品の調合本を頂き鶴岡に戻り、写真を撮り始めました。

その2年後、明治6年(1873年)に写真館を開業しております。1862年写真館誕生から11年後には鶴岡で写真館が誕生していること自体が凄い事だと思います。資料を調べますと、全国で65番目に誕生した写真館とされています。その中で現在も写真館として残っているのは、一桁もないようです。ま

出席報告

会員数	40名
出席	27名
出席率	67.50%
前々回確定出席率	75.00%

■RI会長 カルヤン・バネルジー ■地区ガバナー 細谷 伸夫

■会長/青柳孝治 ■副会長/嶺岸禮三 ■幹事/木村 節 ■会長エレクト/阿部純次
■会報委員会/阿蘇司朗・阿部純次・嶺岸禮三

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

た、現在の寛明堂の建物も歴史があり鶴岡都市景観賞の第一号を頂いております。寛明堂の建物の向かって右側は大正中期のモルタル創りとなっています。また、左側の3階建ての鉄筋コンクリート造りは昭和の初期で鶴岡での鉄筋コンクリート建築としては、一番古い建物とされています。

写真の歴史の中で、なくなりつつあるのがフィルムです。これは、デジタルという流れの中で必要とされなくなってきたからです。フィルムは湿版形式から、ガラスに乳剤を塗る乾板方式に、その後、セルロイド性のフィルムに変化しています。明治23年コダックが開発した、一枚もののシートフィルムが発売されています。その後、皆様が使ったことのある35ミリフィルムやカメラが発売されてきます。

日本では、昭和39年（新潟地震や東京オリンピックの時代）に爆発的にカメラが売れ出し、カラーフィルム販売のピークがその後の万国博覧会の年でした。フィルムは現像してプリントしないと映像が見られなかったのですが、デジタルになるとプリントしなくても映像が見られます。一台1千万以上もするミニラボという機械が必要とされなくなってきました。我々写真館もデジタルの進歩により、乱立が始まりました。それは、今まで簡単に出来なかった修正技術や現像、プリントレタッチ技術が必要なくなってきたからです。写真学校に入り、丁稚奉公学んできた技術がゼロになってしまいました。特にフィルム修正は何十年かかかって習得する技術でした。ですから、私より3年くらい上の人たちはデジタル拒否反応です。デジタル技術に対応出来ずに引退していく人が多いのが実情です。

また、カメラも大きく変わりました。デジタルカメラは一般の方でもお金を出せば簡単に買う事が出来ます。前はプロ用とアマチュア用とに分かれていましたが、今はハイアマチュアが我々よりも良いカメラを持っている事も少なくありません。でも、同じカメラを持っていても撮影の技術は差があることは事実です。視点や、アングル、カメラの使用方法、光の読み方、デジタル現像技術、コンピューターソフト技術、など色々あります。でも、まねの出来ない技術はまだまだ沢山あります。その中の一つでもある光の見方や、作り方です。写真は光がなければ写りません。写真の最大の要素であると思います。光には色温度があり、色温度が高いと青く見えていきます。低いと赤く見えてきます。電球の部屋は暖かい感じの光で3200度くらい、蛍光灯の部屋ではっきりした感じが5000度くらい夏の海辺で晴天のときに5500度くらいです。紫外線から赤外線までの光があります。

フィルムの時はこの温度を一定にするためにフィルターを何十種類も使用したのですが、今はカメ

ラが全て自動でやってくれたりします。後は、良いレンズと良いセンサーを持ったカメラを使用することです。これらをふまえて被写体に備えるわけですが我々は人を撮影するのが生業ですので、その人にあった雰囲気を作り上げていかなければなりません。終点がない我々の技術勉強はまだまだ続きます。

今回の大震災で流された写真の再生に大変な労力をかけて組合や仲間がボランティア活動を行ってきました。家族写真の重要性が見直された年でした。

毎年、皆様家族写真を撮影していますか？遺影の写真準備していますか？いま全国展開しているのが自分の人生の集大成である、自分白身のポートレイトを写しておく事の重要性を宣伝しています。先日なくなられた俳優の二谷英明氏の遺影写真は素晴らしかったと思います。タバコを燻らせている写真でした。亡くなった時、すぐに必要になる写真。ピンボケで想いの感じられない写真が飾られているのが現状です。そんなに遠くない皆様ですので、早めに用意しましょう。鶴岡RC会員は特別2割引にしますので、撮影はぜひ、寛明堂でお願いします。

冗談と宣伝はさて置き最近、自分のライフワークの一つで、節の良い5月から7月頃までの時期に子供たちとロケ撮影を楽しんでいます。本当に子供の笑顔っていいものですね。その中の作品からピックアップしたスライドショーがありますので「賢ワールド」をお楽しみください。

今日はつたない話を聞いて頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員会報告

◆出席委員会

◎メイクアップされた方々

阿蘇司朗・石田 雄・木村 節・佐藤友行
菅原 亨・阿部純次・青柳孝治・本間喜美子
越智茂昭

スマイル ☺

丸山隆志君 加藤賢さん、スピーチありがとうございました。

真島吉也君 先代の弟さんの関係で寛明堂の撮影室で模型飛行機を飛ばした思い出があります。懐かしかったです。

佐藤孝子さん 全国ライラ研究会に出席してきました。6月9日～10日地区ライラ研修会に多勢の皆さん御協力お願いします。加藤賢さんスピーチありがとうございます。

加藤 賢君 つたない話を聞いて頂きありがとうございました。

藤川享胤君 ①加藤さんスピーチ有り難うございました。②阿蘇さんのスピーチで過分にほめられました。